

この19年間の活動の様子はNHK BS『国際報道』やNHK総合テレビ『おはよう日本』で全国に報じていただきました。帰国後、その映像を使いRI 2690地区・島根県3グループ合同IMで特別講演を行った際に一部上場会社ホシザキの坂本会長より「私にもアカ族子ども支援を」と申し出をいただき、1,100万円の寄付を受けました。早速子ども寮を増改築し今年5月末に建物が完成、建物内の設備は浦野会長のご支援もいただき9つの項目でサポートをいただくことになりました。皆様に心より御礼申し上げます。

皆さん、この話を聞いてどう感じられたでしょうか。「なぜタイ政府やタイ国民は子どもたちを助けないのか」と疑問に思われる方もいるかもしれません。しかし、私はそのことについて多くを語りません。奉仕の蛇口を現地の貧困者に向け、少しでも苦しみを救うことに力を注いでいます。1滴でも2滴でも形にして貧困を助ける、これが私の使命です。

私は82歳になりますが、今も「奉仕の現場」で汗を流しています。奉仕を続ける中で学んだのは、「継続は力なり」「奉仕三方よし」「現地目線での奉仕」「夢を形にする奉仕」という4つの言葉です。アカ族の子どもたちが麻薬や売春に追い込まれず、夢を持って生きられるよう、私はこれからも活動を続けます。

本日、このようにお話しできるのも、長年にわたりご支援くださったロータリアンの皆様のおかげです。心から感謝申し上げます。どうぞ今後とも、子どもたちの輝く瞳のために、共に歩んでいただければ幸いです。本日は長時間ご清聴ありがとうございました。

ニコニコボックス

岡村一巳様（浦和東 RC）本日は戸田 RC へ13名でMUさせていただきます。原田義之先生の卓話と貴クラブの例会の雰囲気を楽しませていただきたいと思います。よろしく願いいたします。

三藤俊也様（春日部南 RC）今日は我々地区国際でも重点国として位置づけているタイの話をお聞かせいただきとても勉強になりました。原田先生ありがとうございました。また、開催されました戸田 RC の皆様に感謝申し上げます。

藤掛靖元様（東京浅草中央 RC）東京浅草中央 RC の藤掛と申します。赤塚様のご紹介で12月に卓話をさせていただきます。よろしく願いいたします。

秋保常雄様（戸田西 RC）チェンライのお勉強会楽しみにしてきました。よろしく願いいたします。

島田昌明様（川口むさし野 RC）本日はよろしく。

浦野一郎 お客様ようこそお越しくださいました。原田先生、卓話楽しみにしております。

奥墨常治 本日は戸田 RC オープン例会に多くのお客様にお越しいただきありがとうございます。それと10年間お世話になりました浦和東 RC の皆様にお会いできてとても嬉しいです。ありがとうございます。

長島裕之 原田先生ようこそお越しくださいました。卓話楽しみにしております。

本間雄一 本日は原田様よろしくお祈りします。

熊木雄太郎 本日は多くのお客様、ようこそ戸田 RC へ！

福永高士 原田先生よろしくお祈りいたします。MUの皆様本日はオープン例会楽しんでください。

日坂敦夫 原田先生戸田までお越しいただきありがとうございます。卓話を楽しみにしております。2018年の横浜の全国大会以降、先生の行動力と熱意に感銘を受けております。ますますアカ族支援の輪がさらに広がることを祈念しております。アカ族の子供達の「輝く瞳」が合言葉ですね。

金子洋太郎 第3360地区チェンライ RC パスト会長理事原田義之様「アカ族への支援活動について」卓話ありがとうございます。楽しみにしています。

赤塚光朗 先日4名の入会式、おめでとうございます！！浅草中央 RC 藤掛様暑い中ありがとうございます。12月の卓話楽しみにしております。

岡本忠美 磯島さん明治大学マンドリンチャリティコンサートでは大役ご苦労様でした。大盛況おめでとうございます。

鈴木浩章 先日は新入会員歓迎会を開いていただきありがとうございます。本日もよろしくお祈りします。

お客様ようこそいらっしゃいました。原田義之様卓話よろしくお祈りいたします。

飯島 隆	八木橋 実	市ヶ谷輝男	長谷川春一
金子耕治	城戸重子	金子篤徳	榎本浩子
植野正裕	宮川宏昭	斉藤弘子	渡邊正文
磯島栄一	西袋彰一郎	市ヶ谷久枝	徳永光昭
星 宏和	松本紘明	池永和義	土屋 汎
内田 茂	長谷川陽子	石川 通	

前回迄累計	228件	319,000円
本日の合計	39件	75,000円
合計	267件	394,000円

出席報告

月日	会員総数	計算に用いた会員数	出席者数	MU	出席免除者の出席数	欠席者数	出席率
8/27	54	40	22	4	6	14	69.57%
9/1	55	41	36	4	3	12	78.18%
9/8	55	41	39	0	4	12	78.18%

国際ロータリー 第2770地区 第12グループ

戸田ロータリークラブ

THE TODA ROTARY CLUB

よいことのために
手を取りあおう



第12グループ例会場一覧

- 蕨 RC 蕨市民会館 301 火 12:30
- 川口西 RC 大和証券川口支店 4階 火 12:30
- 戸田西 RC 戸田市文化会館 木 12:30
- 川口北 RC ヘルヴィ武蔵野 木 12:30
- 川口中央 RC 川口キャスティー7階アルファーム 月 19:00
- 川口むさし野 RC 川口市立グリーンセンター内 水 12:30

- 国際ロータリー会長 フランチェスコ・アレツォ
- 第2770地区ガバナー 熊木雄太郎
- 第12グループガバナー補佐 高松良典

会報 2025-2026年度 令和7年9月22日発行

本日のプログラム

第2857回例会

9月22日（月）点鐘12:30

卓話「松下幸之助の成功の要因」

マネジメント協会合同会社

CEO 今給黎健一様

次回のプログラム

第2858回例会

9月29日（月）点鐘12:30

卓話

戸田ロータリークラブ

創立：1964年5月25日

例会日：毎週月曜日 点鐘12:30

例会場：戸田市文化会館

〒335-0022 戸田市上戸田4-8-1

TEL：048-445-1311

事務局：ダイヤメゾン戸田公園1階

〒335-0011 戸田市下戸田1-7-16

TEL：048-445-2437 / FAX：048-432-6331

会報制作：有限会社 雅堂

TEL：048-989-8228 / FAX：048-989-8229

info@miyabido.co.jp

会長：浦野一郎 副会長：長島裕之
幹事：奥墨常治 副幹事：本間雄一

公共イメージ委員会

委員長：磯島栄一 副委員長：高宮大輔

委員：長島裕之 遠藤英樹 古屋智通 細田善則

日坂敦夫 福永高士 熊木雄太郎 八木橋 実

鈴木和江 八木橋 賢一

戸田ロータリークラブ Web Site

ホームページ <http://www.toda-rc.com/>

Eメール info@toda-rc.com

第 2856 回例会報告

例会日：2025年9月8日(月)

会場：戸田市文化会館 4階 羽衣の間

開会点鐘	浦野一郎会長
ローリーソング	我等の生業
唱和	戸田 RC クラブビジョン
行事	お客様紹介、ご挨拶
会長挨拶	浦野一郎会長
幹事報告	奥墨常治幹事
委員会報告	各委員会
卓話	「タイ北部に居住する少数民族 アカ族への支援活動について」 RI 第 3360 地区チェンライ RC パスト会長 NPO 法人 JALET 理事長 原田義之様
閉会点鐘	浦野一郎会長

会長挨拶

会長 浦野一郎

本日はお暑い中、多くのお客様にお集まりいただき、誠にありがとうございます。

本日、募金箱を用意いたしました。ロータリーの皆様にはニコニコボックスにご協力いただいておりますが、それとは別に募金を頂戴し、原田先生のご支援に充てたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、本日は「国際奉仕」に関する卓話ということで、私が日頃考えております国際奉仕の意義についてお話しさせていただきます。私が考えている意義は3つありまして、1つめは台湾のロータリアンの先輩とお話した時のことです。「日本でも子どもが食事を満足にとれないことがあるのだから、地域社会奉仕に重点を置くべきではないか」という意見に対してどう思いますかとお尋ねしたところ、「日本も台湾も国として支援できる力はあるが、一方で国や行政の支援が届かない人々も数多く存在する。それを支援できるのは我々ロータリアンではないか」と話してくださいました。

2つめは直接的な人道支援の重要性です。ロータリーで言えば「ポリオ根絶」が代表例です。もちろん直接の支援は大切ですが、私たちがそれらに「関心を持つこと」こそが第一歩だと思います。そしてその関心を一般の方々にも広げ、世界にはまだ解決すべき問題があるのだと知っていただくことが大事だと考えております。

お客様

RI 第 3360 地区 チェンライ RC パスト会長
NPO 法人 JALET 理事長 原田義之様
第 2770 地区国際奉仕部門委員長 三藤俊也様
東京浅草中央 RC 藤掛靖元様
浦和東 RC、戸田西 RC、川口むさし野 RC の皆様
一般社団法人とだわらび青年会議所の皆様
2025-26 年度青少年交換留学生 カシアーノさん

3つめは、私たちはたまたま日本に生まれ、このような生活を送れているにすぎません。もし困難な地域に生まれていたら、あるいは大震災のような出来事に見舞われたら、我々自身が生きるのに大変な状況に置かれるかもしれません。その時に、今困っている人を見捨てるような姿勢であれば、我々が助けを必要とする時、誰も助けてくれないでしょう。だからこそ、助ける力を持つ者が手を差し伸べることが大切なのだと考えております。

国際奉仕事業は「資金に余裕がなければできない」と縮小されがちではありますが、可能な限り関心を持ち、継続して取り組んでいくことが重要だと思っております。

本日は原田先生の卓話を大変楽しみにしております。どうぞ皆様、最後までよろしくお願いいたします。以上です。

幹事報告

幹事 奥墨常治

- 国際大会について
来年6月開催の国際大会へのツアー参加を一旦締め切らせていただきます。総勢24名で参加という形になりました。今後参加したいとお考えの方は私か本間副幹事へお問い合わせください。
- 次回例会について
22日(月)卓話「松下幸之助の成功の要因」
マネジメント協会合同会社
CEO 今給黎健一様

行事

◆ご挨拶 第2770地区ガバナー 熊木雄太郎様

皆様こんにちは。本日は戸田 RC のオープン例会へ多くのお客様にお集まりいただきまして、ありがとうございます。本日は原田先生をお招きいたしました。後程の卓話楽しみにしております。



本日はお時間の許す限り楽しんでくつろいでいただきたいと思っております。それではよろしく願いいたします。ありがとうございました。

◆ご挨拶 2025-26年度青少年交換留学生 カシアーノさん

皆さんこんにちは。この前のウェルカムパーティーではありがとうございました。

少し自己紹介をします。僕はカシアーノ、16歳でブラジルから来ました。今は大宮国際中等教育学校1年生です。好きな日本料理はたこ焼きです。好きな日本の文化は神社と寺で、本当に好きです。よろしくお願いいたします。



卓話

「タイ北部に居住する少数民族
アカ族への支援活動について」

RI 第 3360 地区チェンライ RC パスト会長
NPO 法人 JALET 理事長 原田義之様



ただいま紹介いただきました、原田義之です。本日のテーマは「輝く瞳に会いに行こう」です。「輝く瞳」というのは貧困ながらも将来に夢を見て識字向上に励むアカ族の子どもたちの瞳のことです。「会いに行こう」とは、これまで18年間日本のロータリアンの方が「それならばアカ族を助けよう」と言って訪れてくれた輝くロータリアンの瞳を意味しています。

皆さんはチェンライという場所をご存知でしょうか。タイの首都バンコクから北へ650km上がった地点に第2の都市、チェンマイがあります。そして私が活動しているチェンライはチェンマイからさらに230km北に上がるとあります。そしてチェンライからミャンマー・ラオス・タイの国境の街がメイサイです。ここは皆さんご存知の通り、国際的な麻薬の取引地帯、ゴールドトライアングルと呼ばれ

る地点です。私は19年前からこの地に入り、アカ族の子どもたちへの識字支援を続けてきました。

そのきっかけは25年前、北タイの小学校へ図書を寄贈した際に出会った、アカ族の青年アリアさんの言葉です。「寮に入れない多くの子どもたちが識字の機会を失い、重労働や麻薬運びに従事してしまう。どうか支援してほしい」と涙ながらに訴えられました。私は帰国後すぐに決意し、日本語教育の資格を得ると同時にタイ語を学び、64歳で現地に入ってボランティアで教師を始めました。以来、ダムロンラートソククロ学校で19年間無給で教壇に立ち、週末には子どもたちに識字教育を続けています。

アカ族は中国から移り住んできた少数民族で、タイでは約4万6千人が暮らしています。しかし差別や貧困のため教育機会に乏しく、子どもたちはしばしば労働や売春、麻薬取引に巻き込まれてきました。アカ族だから不幸な訳ではありません。集落で平和に暮らしていますが、アカ族の子どもはやがてタイ社会で生きていかなければなりません。若者がタイ語を身につけなければ、就職もなければ幸せもないのです。そこで母国語タイ語を学び、識字を身につける必要があるのです。そこで私は「夢の家」と呼ばれる子ども寮を拠点に、70名ほどの子どもを預かり学ばせています。

教育の力は計り知れません。かつて私が支援した少女は優秀ながら進学を断念せざるを得ませんでした。私は彼女を日本に留学させる機会を得て、その後大学を優秀な成績で卒業し、再び留学まで果たしました。現在は自ら子ども寮でボランティアをし、翻訳者を目指しています。また里親制度で支援した少女は困難を乗り越えてアカ族初の女性裁判官となりました。子どもたちの可能性を信じて支援すれば、必ず社会を変える力となるのです。

私は「単なる施しではなく、持続可能な自立支援」を大切にしています。夢の家には畑や鶏舎、豚小屋を整備し、子どもたちが自ら作物を育て、収益を学費に充てられる仕組みをつくりました。また日本のロータリーのご支援で、21の村に浄水設備を設置しました。これによりアカ族の女性たちは半日かけて水を汲みに行く必要がなくなり、人権の解放にもつながりました。

しかし活動は容易ではありません。コロナ禍では中国の国境封鎖により収入が絶たれ、子どもたちは再び識字の機会を失いかけてきました。それでも全国のロータリーの皆様からご支援をいただき、物資を届け、学びをつなぐことができました。